

(1) 実践編の活用について

実践編は、人権教育に取り組むために「奈良市人権教育推進についての指針」に示された基本的な考え方の4つの側面と人権教育推進の方向性に沿って、具体的な実践事例を示しました。

実践事例は以下の内容で構成されています。

分類…実践事例を4つの側面、人権教育推進の方向性、校種別に分類しています。

(例) <Ⅱ-②・幼稚園>では次のような見方をします。

- ・Ⅱ…4つの側面「人権教育を尊重する主体を育てる教育として」
- ・②…人権教育の方向性「道徳的・倫理的な意識の高揚」
- ・幼稚園…校種

題材名…実践事例のタイトルを示しています。

ねらい…学習を進める上でのねらいや目標を示しています。

対象…実践を進める上で、対象となる学年を示しています。

実践事例に示されている対象学年は、あくまでも目安です。学校園の実態等を考慮し、学校園の課題や学習時間に応じて、創意工夫をして活用ください。

指導計画…実践を進めるための、指導計画を示しています。実践事例においては指導計画を示していないものもあります。

展開例…実践を進めるにあたり、幼児の姿、学習内容、指導上の留意点等について示しています。

教材…実践を進めるにあたり、学習内容で使用する教材や資料、記入ノートや参考となる文献等を示しています。

この実践編で示した実践事例を参考にしながら、学校園における幼児児童生徒の実態や学習のねらいに応じて、保育及び各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間等に位置づけて活用してください。